

いのちを守る福祉・ 防災都市東京へ! 都政に憲法を!

都民がつくる革新都政

2013年8月15日
発行 = 革新都政をつくる会
発行人・中山 伸
〒170-0005 豊島区南大塚 2-33-10
東京労働会館5F 電話 (5978) 4031
ホームページ: http://kakushintosei.org/
E-mail: info@kakushintosei.org
(1部25円、送料は別途)

自民党の暴走ストップ—改憲阻止・原発ゼロ・くらし守れ

新しい都議会・国会へ 要求実現迫る大運動を

7月21日投票でおこなわれた歴史的な参院選を経て、第184回臨時国会が8月2日招集され、新しい国会が始まりました。そして、新しい政治への流れをつくり出した都議選後の第1回臨時国会が8日に開かれました。国民・都民のくらし・いのちを守る新しいたたかいがスタートします。

参院選で自民党が大勝し、安倍首相は『わしれ』に終止符を打つことができず、政策実行をさらに加速させたい(7月22日)と述べました。呼応するよう産経新聞は社説で『強い国』へ躊躇せずに進め、痛みを伴う課題にも挑戦を」と声を高し、一方朝日新聞は『両院制した自公政治、民意とのねじれを恐れよ』、毎日新聞は『熱なき圧勝おどろく』と指摘しました。総選挙でアベノミクスの『経済効果』を持ち上げ、自民圧勝を大音量で流してきたメディアの在り方が厳しく問われます。今後、自民党政治と国民の切実な要求とのねじれが国政・都政の最大の課題となつていきます。

自民党への高い支持率となり、安倍首相の大勝となり、アベノミクス頼みの自民党の支持率は大変危ういものであることを国民自身が実感しています。アベノミクスの先行き不安、『景気回復実感していない』、『国民多数の思いです。』現在の日本のデフレ不況の原因である労働者の雇用破壊・賃金引下げによる国内需の冷え込みを抜本的対策を打たず、逆に『成長戦略』『企業が世界一活動しやすい国』を掲げて企業解雇規制の緩和などを推し進める安倍政権・自民党は、国民との矛盾を激化させることは必至です。

また、安倍政権は、早速生活保護改悪法案提出、オスプレイ追加配備、集団的自衛権行使の『検討』など暴走の姿をあらわにしていますが、それら国政の重大焦点もことごとく国民の支持を得られていません。毎日新聞7月29日付世論調査では、消費税増税について、『予定通りに』の賛成派は26%、延期・凍結の反対派は約3倍の71%、原発再稼働は、賛成36%、反対56%、集団的自衛権行使容認に対しても賛成36%に上回っています。民意は、反対が多数派です。

調査では、消費税増税について、『予定通りに』の賛成派は26%、延期・凍結の反対派は約3倍の71%、原発再稼働は、賛成36%、反対56%、集団的自衛権行使容認に対しても賛成36%に上回っています。民意は、反対が多数派です。

調査では、消費税増税について、『予定通りに』の賛成派は26%、延期・凍結の反対派は約3倍の71%、原発再稼働は、賛成36%、反対56%、集団的自衛権行使容認に対しても賛成36%に上回っています。民意は、反対が多数派です。

心と要求を持つていくこと。新たなたたかいのスタートです。都政・国政の主人公は私たち。『ブラック企業なくせ』『原発再稼働反対』『若く世代をばじめインターネットと創意あふれる発信と行動が新たな都民・国民のうねりを生み出している。いまこそ打って出ましょう!発信しましょう!新しい情勢の下で声を上げ運動をさらに発展させ、都民が主人公の憲法を守り活かす都政に転換しましょう。』

去る5月24日、大阪の橋下市長のお膝元で、28歳の母と3歳の子が餓死するという悲惨な事件が報道されました。『お腹いっぱい食べさせられなくてごめん』。このような事件が後を絶たないのは、生活保護を受けない水際作戦が原因となつていいます。生活保護法改悪(5月31日に衆議院の厚生労働委員会、生活保護法の改悪が不当な保護費の大幅引き下げに、9月に不服審査請求)のたたかいを広く呼びかけます。今回はすべての受給者が対象となり、命を守るたたかひとなります。『若者に雇用と賃上げを』『お年寄りに年金と福祉を』『若者に仕事と生活の保障を』行い、公営住宅の大量建設と住宅手当の創設、特養ホームの建設などを行なう。『国民の税金を最大限に活用すべし』。

改悪法案再提出許すな!生活保護に怒りの反撃。改悪法案再提出許すな!生活保護に怒りの反撃。改悪法案再提出許すな!生活保護に怒りの反撃。改悪法案再提出許すな!生活保護に怒りの反撃。

改悪法案再提出許すな!生活保護に怒りの反撃。改悪法案再提出許すな!生活保護に怒りの反撃。改悪法案再提出許すな!生活保護に怒りの反撃。改悪法案再提出許すな!生活保護に怒りの反撃。

改悪法案再提出許すな!生活保護に怒りの反撃。改悪法案再提出許すな!生活保護に怒りの反撃。改悪法案再提出許すな!生活保護に怒りの反撃。改悪法案再提出許すな!生活保護に怒りの反撃。

改悪法案再提出許すな!生活保護に怒りの反撃。改悪法案再提出許すな!生活保護に怒りの反撃。改悪法案再提出許すな!生活保護に怒りの反撃。改悪法案再提出許すな!生活保護に怒りの反撃。

参院選 東京での各党の比例得票率

党派	得票	率
自由民主党	1,797,989	31.92
日本共産党	772,500	13.71
みんなの党	710,906	12.62
公明党	688,534	12.22
日本維新の会	635,573	11.28
民主党	585,724	10.40
諸派	145,265	2.58
生活の党	120,835	2.15
社会民主党	116,139	2.06
みどりの風	59,302	1.05

参院選 東京選挙区での得票 (五-20)

候補者	党派	得票
丸川珠代	自由民主党	1,064,660
山口勝徳	公明党	797,811
吉良佳子	日本共産党	703,901
山本太郎	無所属	666,684
武見敬三	自由民主党	612,388
鈴木寛	民主党	552,714
小倉 淳	日本維新の会	413,637
桐島ローランド	みんなの党	320,287
大河原雅子	無所属	236,953

都民が示した都議選の結果 —変わる都議会—

臨時都議会に臨む共産党都議団の決意

日本共産党都議団 幹事長 大山とも子

は、私たちの発言を途中で遮ったり拳手しているのに、指名しないなど、非民主的な運営が目立ちました。そんな中でも、言うべきことはもちろん言いました。例えば海外調査に関する申し合わせについて、18期(09年)の実施状況を見ても、多額の税金を使って実施する意義は乏しいと、具体的に指摘した上で、現

は、私たちの発言を途中で遮ったり拳手しているのに、指名しないなど、非民主的な運営が目立ちました。そんな中でも、言うべきことはもちろん言いました。例えば海外調査に関する申し合わせについて、18期(09年)の実施状況を見ても、多額の税金を使って実施する意義は乏しいと、具体的に指摘した上で、現

は、私たちの発言を途中で遮ったり拳手しているのに、指名しないなど、非民主的な運営が目立ちました。そんな中でも、言うべきことはもちろん言いました。例えば海外調査に関する申し合わせについて、18期(09年)の実施状況を見ても、多額の税金を使って実施する意義は乏しいと、具体的に指摘した上で、現

都議会(定数127)の構成

党派	議席
自由民主党	59
公明党	23
日本共産党	17
民主党	15
みんなの党	4
都議会みんなの党	3
都議会生活者ネット	3
日本維新の会	2
無所属(1人会派)	1

これから日本共産党都議団は、公約実現のために全力を尽くします。回復した議案提案を大いに活用し、徹底した調査・提案・論戦というこれまでの都議団の基本を貫いて、都民の皆さんの運動と連携しながら、都民要求実現に向け一歩でも二歩でも前に進むよう取り組んでいく決意です。また17人の新都議団は、すでに都立高校生の自衛隊駐屯地での防災訓練の中止、最低賃金の引き上げ、横田基地へのオスプレイ配備反対などの申し入れもしています。今後も機敏に対応していきます。

* 青い空 *

私の住む団地の集会所で憲法の勉強会がひらかれた。参加者は50代から70代の女性ばかり15人。講師は高校の社会科の先生だった方。休憩時間には、参加者手作りの和菓子とお茶がふるまわれるアットホームな会合だ。『もう一度憲法を学んでみませんか』と日本国憲法と自民党改憲案を讀みくらべると、『憲法を讀みくらべると、憲法はわかっていく、高校生にもどって分けてみないと耳を傾けられなかった。レジュメには、工夫があつて、空白のところに答えを書き込む。憲法の最高の価値を学んだ。憲法とは(個人)の尊重。憲法とは(国家権力)を縛るもの。国民を縛るのは(法律)など。といった具合。実感のあるエピソードもはさまれていて憲法と暮らしが近づいた。『自民党の改憲案がこんな恐ろしいものとは』『なぜ、マスコミは知らせてくれないのか』『ほんとうに心配になった』『改憲をやめさせるにはどうしたらいいの?』先生の問いへの答えは『一人ひとりが憲法を守り、活かす語り部となろう』『運動を中高年から若い人たちへひろげよう』『参院選は自民の圧勝におわたった。しかし、衆院選から大きく票を伸ばした共産党。東京の比例票では第二党だ。草の根の力を信じたい。(1)』

関東大震災から九〇年

東京は安全な都市に成長したのか ①

90年前の9月1日、午前11時58分。東京市内にあった中央気象台と東京大学地震学教室の地震計の針が突然、左右に振れはじめました。

死者・行方不明者10万5千人(東京7万人)余りと、失家屋もあわせると20万棟を超える建物が大被害を受けた。東大震災のはじまりでした。最初、緩やかであった地震計の針の揺れは、数秒後には大きくなり、その後、埋立地などの低地に集中してきます。

この地震は、大正関東地震の震源は、東京から約100キロ離れた相模湾沖の相模川沖にあり、その揺れは、地上に立つものには代わりませんでした。

一方、人的被害をもたらしたものは火災でした。地震発生した火災で、東京市域面積(当時)の44%の地域が焼け野原となり、避難場所とされた墨田区の被服跡地では3万8千人が犠牲になりました。

火災被害がこれほど広がった原因は、地震がお昼時に発生したため、各家庭や飲食店でもかまどや七輪などで火を盛んに使っていたこと、その火が倒壊した家屋から燃えひろがったこと、当時の下町地域には火災の原因となる油や薬品が置かれていた町工場や学校が混在していたために延焼を強める結果になったこと、当時、台風が接近しており風が強吹いていたことなどが推定されています。

死亡原因の9割は火災

震後発生した火災で、東京市域面積(当時)の44%の地域が焼け野原となり、避難場所とされた墨田区の被服跡地では3万8千人が犠牲になりました。

火災被害がこれほど広がった原因は、地震がお昼時に発生したため、各家庭や飲食店でもかまどや七輪などで火を盛んに使っていたこと、その火が倒壊した家屋から燃えひろがったこと、当時の下町地域には火災の原因となる油や薬品が置かれていた町工場や学校が混在していたために延焼を強める結果になったこと、当時、台風が接近しており風が強吹いていたことなどが推定されています。

これらの計画は、被災を

奇貨として、懸案となっていた都市改造をすすめるという意図を背景に、トッポダウンで策定されたものですが、同時に、防災の視点からは、延焼を遮断する鉄道や道路とあわせて大規模公園をはじめ公園道路・公園街路兼防火帯の設置、運河の新設・改修など、積極的に緑地や水路を活用する計画となっており、くわえて、東京市案では、人口を分散させるための地区中心を、郊外に設定するなど、注目されます。

残念なことには、こうした計画は実行に移されることなく、今日に見られる無秩序な巨大都市が残されることになりました。

生かされなかった復興計画

復興計画

灰燼と化した首都圏と東京。その復興はただちにじまりました。被災翌日の9月2日には、内務大臣に就任した後藤新平が、東京市長時代に策定していた計画をベースにした「帝都復興計画案」を発表。さらに、被災一週間後には、政府による復興計画案が策定され、その後、10月中旬には、新たに設置された帝都復興院による二つの計画案が発表されています。

一方、東京市は、独自に「帝都復興計画要旨」と「帝都復興計画東京市案」を作成、政府に提出しています。

キラキラサ☆ポーターズ 運営委員 山本由里子



参院選東京選挙区に立候補した吉良よし子さんを囲って、プロクを立ち上げ、さまざまな発信や行動提起を行って来ました。吉良さんの行動を撮りためた写真集『Kirakira☆Porters』の発売に、吉良さんの名前を広げ

目をおびて一気にプレイヤ地域で評判になり、千部をほぼ10日で完売し、マスメディアにまで取り上げられました。またオリジナル缶バッジの販売や、宣伝用ちわのイラストをタウンロードできるようにするなど、限られた時間の中でできるかきりのことをやっていきました。

話題づくりではネットに詳しい者がその技を駆使しました。吉良さんの政策の目玉である「ブラック企業追及」を連ツイートし、関連ツイートをまとめる「getter」というサイトで注

注目を集める中、ネット上に吉良さんの街宣予定を告知し、応援に来てくださると呼びかけました。注目してもらえそうな文面や写真を選定し、寄せられる声に答えながら、ネット上や現場でサポーター同士の交流を深めていきました。

しかし、サポーターの呼びかけだけでは、街宣の

都政転換 私の願

小さな一歩をよせ集めて— 参加し励まし合う選挙活動

参院選東京選挙区に立候補した吉良よし子さんを囲って、プロクを立ち上げ、さまざまな発信や行動提起を行って来ました。吉良さんの行動を撮りためた写真集『Kirakira☆Porters』の発売に、吉良さんの名前を広げ

目をおびて一気にプレイヤ地域で評判になり、千部をほぼ10日で完売し、マスメディアにまで取り上げられました。またオリジナル缶バッジの販売や、宣伝用ちわのイラストをタウンロードできるようにするなど、限られた時間の中でできるかきりのことをやっていきました。

話題づくりではネットに詳しい者がその技を駆使しました。吉良さんの政策の目玉である「ブラック企業追及」を連ツイートし、関連ツイートをまとめる「getter」というサイトで注

注目を集める中、ネット上に吉良さんの街宣予定を告知し、応援に来てくださると呼びかけました。注目してもらえそうな文面や写真を選定し、寄せられる声に答えながら、ネット上や現場でサポーター同士の交流を深めていきました。

しかし、サポーターの呼びかけだけでは、街宣の

関東大震災90周年 メモリアル集会

日時 9月1日 午後0:45開場
午後1:00開会
午後5:00閉会

会場 四谷・プラザエフ7階 カトレア

プログラム 基調講演
「大都市における防災の課題」
塩崎賢明氏(立命館大学教授・神戸大学名誉教授)

地域・団体の防災活動の取り組み交流

- 防災まちづくり、木密改善の取り組み
- 「木密10年プロジェクト」の強制的な道路建設に対する取り組み
- 地域の防災ウォッチングや学習会の取り組み
- 行政と防災協定締結の取り組み
- 港湾・交通・教育・専門分野からの取り組み

資料代 500円

賛同団体:東京災対連 東京地評 東京自治労連 東京民医連 新婦人本部 防災首都圏問題懇談会 新建東京支部 臨海都民連 援.東京民報社

主催 革新都政をつくる会

東京市会の「帝都復興計画東京市案一般図」 1923年

